＜参考＞

国立大学法人鹿屋体育大学長に求められる学長像の
Ⅱ 次期学長に求められる取り組むべき課題 4. における補足

取り組むべき課題4.にある「第5期中期目標・中期計画において、国立大学法人改革基本方針を踏まえた組織見直し、財務戦略、人事戦略、マネジメント体制を構築・推進すること」における具体の項目は以下のとおり。

（1）ミッション・機能強化の方向性の明確化

国立大学法人等改革基本方針においては、国立大学法人等全体のミッションとして、以下の3点を提示していますが、これらを踏まえ、具体的（どの分野、どの領域）にどのようなミッションを鹿屋体育大学として果たしていくことが必要と考えているのか。

【国立大学法人等の全体のミッション】

①不確実な社会を切り開く世界最高水準の研究の展開とイノベーションの牽引
②変化する社会ニーズに応じた高度専門人材の育成
③地域社会を先導する人材の育成と地域産業の振興

（2）ミッション・機能強化の方向性を踏まえた組織の見直し

（1）で明確にしたミッション・機能強化の方向性を踏まえ、鹿屋体育大学の組織（学部、研究科、附属施設等）について、2040年を見据えてどのように見直しを行っていくことを考えているのか。

（3）ミッション・機能強化の方向性を踏まえた財務戦略と人事戦略、マネジメント体制の構築

（1）で明確にしたミッション等を果たしていくため、法人内の資源配分（財務、人事）をどのように行っていくのか。

（4）ミッションを踏まえた教育研究の高度化

（1）で明確にしたミッション等を果たしていくため、具体にどのような教育研究の高度化をどのように図っていくのか。